

2015/3/1 卒業式② 会場：第1体育館
開式の辞：副校長



1 国歌斉唱 ピアノ生伴奏



2 卒業証書授与





3 学校長式辞



教育委員会告辞：教頭代読



告 辞

晴れの卒業式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。輝かしい門出を心からお祝い申し上げます。

今、皆さんは、それぞれの道に向かって、期待に胸をふくらませ、決意を新たにしていることと思います。

現在、グローバル化や情報通信技術の進展が、国内外の経済や文化などあらゆる分野に大きく影響を与え、皆さんが踏み出す社会は、将来の予測が難しく、答えが一つとは限らない複雑な問題を抱えています。こうした社会では、広い視野で現状を分析し、自ら課題を発見していく姿勢が求められます。そして、自分の考えをしっかりと持ち、多様な価値観を持った人々とコミュニケーションを取りながら、協働して解決していく力が必要です。皆さんがこれまでの学校生活で培った学ぶ姿勢、育んだ友情や思いやり、鍛えた心身は、今後の人生において力強い支えとなるに違いありません。

昨年2月、フィギュアスケートの羽生結弦選手が、ソチ・オリンピックに出場しました。彼は高校2年生のとき、練習中に東日本大震災に遭い、スケート靴を履いたまま避難したそうです。自宅も全壊し、避難所生活を送りました。このような状況の中で、「このままスケートをやっていいのか」と悩むこともありましたが、「僕がやるべきことはスケートだ。精一杯演技する姿を見て、少しでも前を向いていく勇気になれば」という新たな想いを胸に抱き、苦しい日々を乗り越え、見事金メダルに輝きました。たとえ困難な状況にあっても強い意志を持って、高みを目指しひたむきに努力する羽生選手の姿に、私たちは心を動かされました。

また、12月には、青色発光ダイオードの開発と実用化への貢献により、赤崎勇さん、天野浩さん、中村修二さんがノーベル物理学賞を受賞しました。多くの研究者たちが窒化ガリウムから青色LEDを発明することは難しいと考える中で、彼らはその可能性を信じて研究を続け、二千回以上の実験を繰り返し、失敗を重ねながらも、少しずつ改良を加え成功にたどりついたのです。目標の実現に向け、試行錯誤し粘り強く取り組む3人の姿勢から、決して諦めずに、創意工夫しながら前に進むことの大切さを学びました。

これからの時代を担う皆さんは、高い志を立て、この先厳しい状況に直面しても、その実現に向け、強い信念を持って挑戦を続けてください。社会の一員として、活力ある未来の創造を目指し、新しい時代を切り拓く人材となることを期待します。

皆さんを今日まで温かく見守り支えてくださった、保護者や先生方への感謝の思いを忘れずに、生まれ育った「ふるさと石川」に誇りと愛着を持ち、心豊かな人生を歩んでください。

皆さんの今後の健康と活躍を祈って、はなむけの言葉といたします。

平成27年3月

石川県教育委員会

4 PTA 会長祝辞：飯山暁朗 氏



5 送辞



6 答辞



7 校歌斉唱



2015/3/1 卒業式② 会場：第1体育館
閉式の辞：副校長



卒業生退場

